

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

2012 vol.1 11-12



INTERVIEW

読売日本交響楽団正指揮者

演出家

下野竜也 蜷川幸雄

PICKUP

吹越 満

11月・12月 LINEUP

対談

東京芸術劇場 芸術監督

野田秀樹

パリ・シャイヨー宮国立劇場 芸術監督

ディディエ・デシャン



読売日本交響楽団正指揮者

下野 竜也
TATSUYA SHIMONO

柔らかな響きと落ち着いた空間。

読響の初代正指揮者として、またマニアックなプログラミングにおいても人気の高い下野竜也。

リニューアルしたホールで、柔らかな響きを実感した

マエストロ下野の視点から捉える芸劇における音楽の可能性とは。

1990年のオープン以来初の大規模改修工事を終え、2012年9月1日、18カ月ぶりに開いた東京芸術劇場。大ホール（コンサートホール）は下野竜也指揮の読売日本交響楽団、ソプラノの小川里美、メゾソプラノの清水華澄、地元・豊島区の東京音楽大学合唱団によるマーラーの「交響曲第2番『復活』」の記念演奏会で再開を飾った。下野が正指揮者を務める読売日響はかねて東京芸術劇場と提携関係にあり、今後もチャイコフスキー後期交響曲チクルスなど、多彩な企画を予定する。まずは9月1日本番直前の下野にリニューアル

の手応えや、これからの展望などを聞いた。
——新装となって、音響に変化は。
全体的にマイルド、柔らかな響きになったと思います。残響も増えました。以前の響きはすごくシャープでしたから、よく注意しないと、エッジが固くなりすぎたまま後ろに飛んで行った気がします。もう一つは、低弦（チェロやコントラバス）の音が指揮台にいて、以前より良く聴こえるようになりました。お客様で客席が埋まった段階で、どのような響き方をするのか、とても興味がありますね。

——見た目の印象は。
壁面にたて格子が入り、全体でも木材の比重が上がりました。客席の椅子の張り地が同系色に統一されたので、指揮者からの見た目も落ち着いたかな。反響板の位置や向きが変わりました。ステージの木材はすべて張り替えられ、真新しさの奥行きを90cmほど前に広げた結果、（オーケストラと指揮者より前に楽器を置いて演奏する）ピアノ協奏曲なども、やりやすくなるのではないかと期待しています。

——ホールに見合った演目や企画の方向性は？
東京都の建物ではありますが、交通網から見れば、埼玉県への玄関口にも当たります。平日の夜だけでなく、週末のお昼に池袋のターミナルへ集まる広い範囲の人々に向け、名曲を並べるだけでなくとどまらないプログラミングへ舵をきっていく可能性も大きいですね。クラシック音楽の枠を超え、俳優やダンサー、他ジャンルの歌手といったアーティストを交えたパフォーマンスをコンサートホールで繰り広げる、プレイハウス（中劇場）でアンドレ・プレヴィン作曲の『欲望という名の電車』のような室内オペラを上演する……などなど。オーケストラが主役にしゃしゃり出ない演目があっていい、と考えます。複数のステージを俯瞰した相乗効果はこれから、究められていくでしょう。

——リニューアルオープン

記念演奏会の曲目がマー

ラーの「復活」交響曲に決

まった経緯は？

最初はベートーヴェンの『交響曲第9番・合

唱付き』という声もありました。1990年の

オープニングシリーズの一環でジュゼッペ・シノーポリ指揮フィルハーモニア管弦楽団のマーラー・ツィクルスが行われたためこの曲に落ち着いたようです。

——ふだんは日本人作曲家に限らず、近現代の珍しい楽曲への傾倒が目立ちますね。
もう、マニアック指揮者と呼ばれるのには慣れました（笑）。興味をもって下さるだけでも、うれしい。日本の指揮者の中で私は広上淳一、大野和士、大友直人、佐渡裕ら10歳上の諸先輩方、川瀬賢太郎、山田和樹、三ツ橋敬子ら10歳下の後輩の皆さんの中間に位置し、金聖響、西本智実さんたちと同世代。自分との接点は余りなかったけれども、最初にプログラミングの面白さを意識したのは、かつて読売日響の常任指揮者時代に『初演魔』の異名をとられた若杉弘先生の仕事ぶりに触れた時です。僕が正指揮者に就いた時点でも、クラシックの名曲は内外のマエストロたちが定番として振られるので、自分なりの斬新な

ています。

——東京芸術劇場のお客様に向け、今後へのメッセージを。

現代曲の指揮には体力も必要なので、若いうちから頑張った反面、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンら古典派への備えを怠ってきたわけはありません。自分が何歳まで生きて、どう変化していくかまでは読めませんが……。少しずつ定番の名曲とのバランスをとりながら、広い意味での『よい音楽』を様々なオーケストラ、共演者ともに奏でていきます。どうか何度でも、聴きにいらしてください！

——ありがとうございました。

聞き手：音楽ジャーナリスト 池田卓夫

“マニアック指揮者”
と呼ばれて（笑）

曲目を考えざるを得ませんでした。徐々に認められ、東京都交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団など、他のオーケストラへの客演でも受け入れられるようになったのは幸いだと、感謝し

下野 竜也 2006年より読響・初代正指揮者に就任し、以後意欲的な活動で高い評価を得ている。1969年鹿児島生まれ。97年から99年まで、大阪フィルの初代指揮研究員として朝比奈隆らの下で研鑽を積む。2000年東京国際音楽コンクール（指揮）優勝と齋藤秀雄賞受賞、01年プザンソン国際コンクール優勝。国内の主要オーケストラに招かれる

一方、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放響、ローマ・サンタチェーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブール・フィルなどと共演。10年12月、サイトウ・キネン・オーケストラを指揮して、ニューヨーク・カーネギーホールに登場。11年4月、南西ドイツ・フィルにデビュー。07年から上野学園大学音楽学部教授。11年1月、広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。

巨匠が厳選した15曲
《珠玉の小品集》

第199回 東京芸術劇場名曲シリーズ

11月25日〔日〕18:00開演 コンサートホール

指揮：ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス

| 曲 目 |

グリーグ／「ペール・ギュント」第1組曲から「朝」「アニトラの踊り」
ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲
ファリャ／「恋は魔術師」から「バントマイム」「火祭りの踊り」
マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
ビゼー／「アルルの女」組曲から「メヌエット」「ファランドール」 ほか

下野竜也が振る
《渾身のブルックナー》

第202回 東京芸術劇場名曲シリーズ

2013年2月20日〔水〕19:00開演 コンサートホール

指揮：下野竜也 | 曲 目 | ブルックナー／交響曲 第5番 変ロ長調

.....

チケット料金 【全席指定】 S席：7,000円 A席：5,000円
B席：4,000円 C席：3,000円

お 問 合 せ 読響チケットセンター
03-3562-1550（10:00～18:00土日祝除く）

主催：読売新聞社／日本テレビ放送網／読売テレビ／読売日本交響楽団



ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス



下野 竜也

5都市共同制作 東京芸術劇場シアターオペラvol.6 G.ビゼー 歌劇『カルメン』全幕

「自由」を求め、「運命」に身を差し出す――。

誰からも愛される“名作”が持つ魅力とは。

新プロダクションによって見いだされた作品の普遍的なテーマとは。

2013年2月、芸劇の定番シリーズとなったシアターオペラで

生まれ変わった『カルメン』の幕が上がる。

触れ直すたびに新たな発見がある…それが「名作」の魅力ではないでしょうか。

この度の『カルメン』新プロダクションで脚色・翻案をおこなうにあたり、あらためて気づかされたのは「自由」と「運命」というテーマでした。情熱的で奔放な人生を送り、自由を求めてやまないヒロインのカルメンが、自ら運命に身を差し出し、周囲もその渦中に巻き込まれてゆく…。自分の知恵と力を用いれば明るい未来を切り開ける、といった右肩上がりの神話が崩れ去ってゆく昨今です

が、『カルメン』は既に百年以上も前に、人間にとっての自由とは何かというテーマに鋭く肉薄していたのです。

また今回は、原語のフランス語だけでなく、日本語の訳詩を創作し、それを様々な場面に散りばめるという工夫もおこなっています。これは、『カルメン』に潜む人種や文化の衝突の問題を浮き彫りにしたいという狙いゆえのこと。国内外のソリスト、そして地元の合唱団が一堂に会するという特別な機会に恵まれ、ついにこのアイデアが

実現されるに至りました。

名作の具える汲めど尽きせぬ力に背中を押され、さらに狂言師の茂山あきら氏の手による演出の下、装いも新たに生まれ変わろうとしている『カルメン』。その瞬間を見届けに、ぜひお運びいただければ幸いです。

脚色・翻案・字幕／
横浜国立大学准教授 小宮正安

G. Bizet
Carmen
at tokyo metropolitan theatre



本公演の舞台美術スケッチ

5都市共同制作 東京芸術劇場シアターオペラvol.6 G.ビゼー 歌劇『カルメン』全幕

一般発売10月30日(火)

2013年2月17日[日] 14:00開演 コンサートホール

| チケット料金 | S席13,000円/A席9,000円/B席7,000円/C席5,000円/D席3,000円/E席1,500円

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/石川県立音楽堂/オーケストラ・アンサンブル金沢(財団法人石川県音楽文化振興事業団)/ハーモニーホールふくい(財団法人堀井県文化振興事業団)/新川文化ホール(公益財団法人富山県文化振興財団)/名取市文化会館(財団法人名取市文化振興財団)/仙台フィルハーモニー管弦楽団

| お問合せ | 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010(休館日を除く10:00~19:00)

| チケットのお問合せ | 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010 (休館日を除く10:00~19:00)

東京芸術劇場&ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画 第3回音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2012

コンサートホール | チケット料金 | 【全席指定】各公演1,000円

11月24日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場)



武蔵野音楽大学
指揮：北原幸男

【曲目】
シヨスタコーヴィチ／
交響曲第5番



昭和音楽大学
指揮：大勝秀也

【曲目】
ファリヤ／
「三角帽子」第1組曲 第2組曲



洗足学園音楽大学
指揮：秋山和慶

【曲目】
ベルリオーズ／
幻想交響曲

12月5日[水] 18:30開演(17:30ロビー開場)



桐朋学園大学
指揮：飯守泰次郎

【曲目】
ブラームス／
交響曲第4番



東京音楽大学
指揮：高関 健

【曲目】
マーラー／
交響曲第1番「巨人」

12月8日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場)



東邦音楽大学
指揮：末廣 誠

【曲目】
ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」
ベートーヴェン/交響曲第8番



国立音楽大学
指揮：梅田俊明

【曲目】
ブルックナー／
交響曲第4番「ロマンティック」

主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会 / ミュゼザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) / 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



このフェスティバルは各大学間の交流と協力を目的としています。その一環として、各大学の演奏の前には共演校からのエールを込めたファンファーレの演奏があります。

現代最高のマーラー指揮者、
インバルによる至高のマーラー交響曲ツィクルス

当劇場において1990年のオープニング時に行われ、大きな話題となったシノーポリとフィルハーモニア管弦楽団によるマーラーツィクルスは、そのブームといえる流れの中でも特に印象的な演奏会としてコンサートゴアアの記憶に

強く残っている。そして、今年2012年、1年半の改修休館を経て、リニューアルオープンを迎えた“芸劇”。現代最高のマーラー指揮者、インバルと東京都交響楽団による至高の“新マーラー・ツィクルス”が新たな歴史を刻みはじめた！

東京芸術劇場リニューアル記念 インバル＝都響 新マーラー・ツィクルスⅤ

2013年1月20日[日] 14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール

指揮：E.インバル フルート：上野由恵 管弦楽：東京都交響楽団

【曲目】モーツァルト/フルート協奏曲第2番 マーラー/交響曲第5番

| チケット料金 | 【全席指定】S席6,500円/A席5,500円/B席4,000円/C席3,000円/D席2,000円

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



E.インバル



上野由恵

インバルと都響が築くマーラー芸術の最頂点! 第Ⅱ期スケジュール決定!

インバル＝都響 新マーラー・ツィクルス 第Ⅱ期

2013年11月3日[日・祝]～2014年3月15日[土] コンサートホール

第Ⅱ期セット券 一般発売1月18日(金)

詳細・最新情報は特設サイトで! <https://www.tmsu.or.jp/j/special/mahler/>

2013年――
11月3日[日・祝] 14:00開演 【曲目】交響曲第6番「悲劇的」※
11月9日[土] 14:00開演 【曲目】交響曲第7番※
2014年――
3月8日[土] 14:00開演 【曲目】交響曲第8番「千人の交響曲」※
3月15日[土] 14:00開演 【曲目】交響曲第9番

※東京都交響楽団主催「作家の肖像」シリーズ

芸劇で
通して
聴こう



演 出 家

蜷 川 幸 雄

YUKIO NINAGAWA

世界を唸らせたいという夢だけを頼りに。

演劇の「国際プロジェクト」は少なくないが、この企画の“国際度”は他を大きく引き離すだろう。

イスラエルのユダヤ系とアラブ系、そこに日本人が加わってギリシャ悲劇を紡ぐ。

3年越しの企画を動かす演出の蜷川幸雄に話を聞いた。

——この企画が立ち上がった直後、蜷川さんは「この作品を通して他者の痛みを想像する」と、さまざまな取材でおっしゃっていました。その時は、政治的、宗教的に複雑な関係にありながら共演するユダヤ系とアラブ系の俳優に対し、私達日本人は、まさに「想像する」第三者の立場でした。ところが尖閣諸島の問題などで、日本も他国との緊張度が一気に増し、今は領土問題が他人事ではなくなりました。

そうですね。何とも言えずきな臭い、戦禍にまつわる物語がある種のリアリティを持ちそうな嫌な

空気が出てきたと思います。僕は小学校4年生の時に終戦を経験していて、子供ではあったけれども、戦争の状況を肌で知っているから、そこはとも気になります。

——今、改めてこのプロジェクトの意義を洗い直すと「想像力」とは違うものが浮かび上がるのだと思いますが。

傍観者として安全地帯で何か言っていればよかった人間達が、ヒリヒリした緊張感を持って、ひとつひとつの物事を重層的な決定をしなければならないところに来てしまった、という変化でしょ

うね。ユダヤとアラブの俳優に出てもらうことを決めた時から、政治のイデオロギーや宗教とは違うところで演劇を自立させたいと思っていますが、日本という国がこうした状況になって、どうしたってニュートラルな場所にいられなくなってきている。そこに新しい何かが生まれるのではないかと思います。もともと手強いプロジェクトである上に、つくる側のハードルはどんどん高くなっていますね。

——このプロジェクトの手強さとは？

日本語、ヘブライ語、アラビア語と3つの言語で

上演しますが、違う言葉が飛び交うだけでなく、思想と立場の違いが長い時間の堆積としてあるわけです。ある国の人は相手国の言語を話せるけれど、その逆はないとか。三者対等に物事をつくろうとしても、対等でない条件が最初に存在している。何度かワークショップをしましたが、すでにぶつかりあいもありました。たとえば、アラブ系の俳優がダンスを踊れば、ユダヤ系の俳優も踊りを披露する。人数も同じでなければダメ。それに、日本の常識と違うことも多々あります。イスラムは僕らほど戯曲を尊重せず、俳優が勝手に判断して、せりふを歌にしたりする。「台本があるから」と言っても平気で「ない」と答えるし、すぐに「出ない」と言い出す。反抗しているのではなくて、そういう文化なんですよ。言うのは当

然だから主張する。そこで言い合いになっても、後々まで尾を引くことはありません。

——その対象が2つですから、一層大変ですね。

そういう意味では、これまでイギリスを始め海外で仕事をしてきて——今回ほど激烈ではないけれども(笑)——、異なった文化圏の人とのやり取りに慣れていたことはよかったと思います。こ

うい場合の闘争の仕方を、僕はある程度わかっていますから。もしダメだったら企画全体が壊れても仕方ないと思うくらいの覚悟でこちらも臨みます。

——『トロイアの女たち』は、戦いに敗れた者達の悲劇、特に、敗戦によって運命が狂わせられる女達を描いたギリシャ神話です。なぜこの話を選ばれたのでしょうか。

はじめは(何度も演出している)『メディア』にしようかなと思っていたんです。でもこっちのほうが、ストーリー上も演出の際も選択を迫られる話で、日本人として態度をはっきりさせなければならないという点で、今、自分がやるべきものだろうと決めました。図らずも状況のほうがどんどん僕らを超

え始めて、正しかったといえば正しい選択だったけど、とんでもないことになりました。

——その選択を引き受けて、目指すものは？

今回に限らずですが、もうちょっといい作品ができるといい、世界中を唸らせたいという、勝手な夢みたいなものがあるんです。それだけを頼りにやっています。もしそれがなかったら、とっくに逃げ出したい企画ですよ(笑)。

取材・構成：徳永京子

日本人はもう、この作品の傍観者ではいられない。



蜷 川 幸 雄

1935年生まれ。55年に劇団青俳に入団、68年劇団現代人劇場を創立。69年『真情あふる軽薄さ』で演出家デビュー。72年演劇集団「櫻社」結成、74年に解散後、『ロミオとジュリエット』で大劇場へ進出。以後日本を代表する演出家として国内外の現代劇から近松門左衛門、シェイクスピア、ギリシャ悲劇など幅広い作品

を手掛ける。83年の『王女メディア』ギリシャ・ローマ公演を皮切りに毎年海外公演を行い、その活動は海外でも高い評価を得ている。受賞歴多数。現在は彩の国さいたま芸術劇場、Bunkamura シアターコクーン の芸術監督。



東京芸術劇場・テルアビブ市立カメリ・シアター国際共同制作 トロイアの女たち

12月11日[火]～20日[木] プレイハウス

作:エウリピデス 演出:蜷川幸雄

出演:白石加代子／和央ようか ほか 日本人+イスラエルのユダヤ系、アラブ系俳優

チケット料金 | 【全席指定】
S席:10,000円/A席:8,000円/
サイドシート:6,000円/
※65歳以上:7,000円/※25歳以下:4,000円/
※高校生割引:1,000円 ※前売のみ、枚数限定

12月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木
13:00						●				●
14:00			●						●	
18:00					●	●				
19:00	●	●	●				●	●	●	

演出:白石加代子 和央ようか

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス
03-5391-3010(休館日を除く10:00～19:00)



吹越満

1965年生まれ。84年、フナイ本舗に参加。99年に退団。95年『原作・罪と罰』、98年『Right Eye』野田秀樹作・演出作品をはじめ、数々の舞台に出演。また、89年から継続している『フキコシ・ソロ・アクト・ライブ』では、俳優らしからぬ実験的な(演芸)を展開。ひとり舞台の可能性を追求するソロ・パフォーマンスでもある。映画やドラマにも多数出演。主な出演作に『冷たい熱帯魚』(園子温監督)、『警視庁捜査一課9係』(ANB)、『運命の人』(TBS)、映画『宇宙兄弟』(森 義隆監督)などがある。

——今回、演出を手掛けることになった経緯と、今のお気持ちをお聞かせください。

野田さんから「三人芝居の作品を」ということでオファーをいただきました。最初は悩みましたが、今やらないと自らやることはないだろうと、これもいいタイミングかと思い引き受けました。もともとロベール・ルパージュ(『ポリグラフ』初演の作・演出)も好きで、いつかあんな舞台をやりたいと思っていたんです。でも、いざやるとなるとどうしたら違うふうに見えるのか、考えるものですね。

芝居を超越した「舞台表現」

「フィジカル・シアター」第一弾を飾るのは、名優 吹越満が演出を手掛ける『ポリグラフ』。肉体と精神、空間と映像、あらゆるものを駆使した新しい舞台表現が、ここに生まれる ——。

——台本を読んだ時の印象は？

脚本家が舞台でやるためのお話を作り上げたのではなく、原作者なり役者なりが、稽古場で作りながら記録していった台本、という印象を受けました。書いてあることがすごく具体的で、しかも映像の指定までしてあるんですよ。そういう舞台の脚本ってあまりないですね。最初から映像を使っているって書いてある。「俺に向いてるかも」と思いました。

——“吹越演出”により、作品にどんな変化がありそうでしょうか？

何か付け足したり、少し入れ替えたりするかもしれないです。カナダのお話なので日本人がやる時点で説得力を出すのは難しいところもありますが、これはこういう設定だからというところで終わらずに、ちゃんと考えたいと思っています。

あと、無駄と思えるものも入れていきたい。「この人たち何やってるんだろ？」っていうのが面白いと思うので。こうした作品作りの試行錯誤は、僕の中では「モノを創る」というより、世の中にあるモノの中から「探している」という感覚なんですよ。これから共演者のお二人と一緒に、探しながら作っていくつもりです。

——「フィジカル・シアター」の魅力や可能性についてはいかがですか？

絶対に必要なのはお客さんの想像力。それを信用しなきゃいけない、というか、信じています。受け手の想像力が大きければ大きいほど、舞台から客席に伝えたことが、より大きくなって自分のところに返ってくると思います。

——今作への意気込みをお聞かせください。

舞台や映像、色んなものに携わった経験上、映像は羨ましいなって思うんです。映像は画面に見せたいものが投影されていて、確実に見せられるんですよ。でも、舞台の場合は二人が上手の端と下手の端にいた時に、お客さんはどちらを見ているか分からない。人がいないところを見ているかもしれない。そこが映像との大きな違いだと思います。今回は映像を使用した舞台になるので、そこを何とかしたい。舞台で映像を使うことの必然性を見つけられるよう、挑戦していきたいです。『ポリグラフ』だからこそ出てくるものが、生まれるものが、必ず何かあるはずですからね。お芝居の域にとどまらず、舞台表現としてこの作品を作り上げられればと思っています。



3×3ー① ポリグラフ 嘘発見器

12月12日 [水] ～ 28日 [金] シアターイースト

脚本・構想：マリー・ブラッサール／ロベール・ルパージュ 演出：吹越 満 訳：松岡和子
出演：森山 開次／太田 緑 ロランス／吹越 満

チケット料金 【前売指定】一般：5,000円／高校生割引：1,000円／65歳以上：3,500円／25歳以下：3,000円

12月	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
15:00	●	●	●	●	休	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	休	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

○＝観覧障害をお持ちの方に字幕提供／目の不自由な方への舞台説明会あり

【お 問 合 せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010(休館日を除く10:00～19:00)



森山 開次



太田 緑 ロランス



吹越 満

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

【チケットのお問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010 (休館日を除く10:00～19:00)

鶴屋南北戯曲賞受賞、本谷有希子の代表作遂に再演！

再演を熱望されていた本谷流シリアスコメディが、2006年の初演から6年ぶりに全く新しいキャストで蘇ります。04年『腑抜けども、悲しみの愛を見せる』、05年『無理矢理』以来3度目の劇団、本谷有希子への参加となる菅原永二。本谷有希子原作の映画『乱暴と待機』ではジャージとメガネのネガティブヒロインを演じた美波。09年の舞台『来来来来来』以来、2度目の劇団、本谷有希子への参加となる佐津川愛美。劇団『サンプル』を率いる、岸田戯曲賞

作家にして俳優としても活躍する松井 周、そして舞台も映像も抜群の個性と独特の存在感を光らせる片桐はいりと、本谷有希子ならではのキャストが揃いました。生徒の自殺未遂を機に、放課後の職員室は修羅場と化す。いじめのせい？教師のせい？人格者と評判の女教師の裏の顔は一。責任転嫁と疑心暗鬼のスパイラルの果てに、「トラウマ語り」の欺瞞を鋭くえぐる、快感ブラックコメディ！ぜひ劇場で体感してください。



劇団、本谷有希子 第16回公演 遭難、

10月2日 [火] ～ 23日 [火] シアターイースト

作・演出：本谷有希子 出演：菅原永二／美波／佐津川愛美／松井 周／片桐はいり

【チケット料金】【前売指定】一般：5,800円／ヤングチケット：3,500円 ※未就学児の入場不可

10月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
14:00			★		●		●	休		▲		●	●	休	休		●	●	●		●	●
19:00	●	●		●	●	●		休	●	▲	●			休	休	●	●	●	●		●	●

▲＝ビデオ撮影のため、場内にカメラが設置されます。予めご了承ください。 ★＝ポストトーク等のイベントあり

【お 問 合 せ】ヴィレッチ 03-5361-3027(平日11時～19時)

主催：ヴィレッチ

短篇シリーズ「図書館的人生」まずは上巻！

日常の裏側に潜む異界を描く、気鋭の劇作家・前川知大とイキウメによる最新作です。劇団結成より今年で10年。10年目の最後の公演は、オムニバス形式の短篇シリーズ「図書館的人生」から、選り抜きと新作を織り交ぜての上演となります。「図書館的人生」では、これまで、「Vol.1 死と記憶に関する短篇集」(2005)、「Vol.2 盾と矛」(2008)、「Vol.3 食べもの連鎖」(2010)、と3作全13本の短篇を上演。

ハードSF、スラップスティック・コメディ、オカルト・ホラーなど、カラフルに並べたショーケースであり、実験の場でもある、劇団のライフワークともいえるシリーズです。本作は本年の読売演劇大賞で最優秀演出家賞・グランプリを受賞した前川知大による、1年ぶりの演出作品でもあります。どうぞご期待ください。

イキウメ The Library of Life まとめ＊図書館的人生(上)

11月16日 [金] ～ 12月2日 [日] シアターイースト

作・演出：前川知大 出演：浜田信也、盛 隆二、岩本幸子、伊勢佳世、森下 創、大窪 人衛、加茂杏子、安井順平／菊池明明、西山聖了

【チケット料金】
【前売指定】4,200円
【当日指定】4,400円

【お 問 合 せ】
イキウメ 03-3715-0940

主催：イキウメ／エッチビー

11・12月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12月	2
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
13:00		●	●					●	▲							●	●
14:00				休						休		●					
18:00		●						●	▲							●	
19:00	●				●	●	●				●	☆	●	●			

▲＝ビデオ撮影のため、場内にカメラが設置されます。予めご了承ください。 ☆＝追加公演

演目は旧作、新作、蔵出しから準備中ですが、絞ったもののすでにトータル4時間。さすがに長いので更に絞って4、5作品、2時間ちょっとでまとめます。とりあえず全部稽古場へ持って行って考えよう。ご期待ください。



前川 知大

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	木	金	土	祝	日	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	祝	日	月	火	水	木	金	
Concert Hall		A	B	C																				D	E	F	G	H		I
Playhouse				A					B							C								D	E	F				
Theatre East				A					B							C								C						
Theatre West					A										B															

Concert Hall

A 2日[金] 19:00開演(18:00ロビー開場)

東京ニューシティ管弦楽団
第84回定期演奏会[シリーズA]

出演 内藤 彰(Cond)／上野耕平(Sax)／永井基慎(Pf)／石若 駿(Per)

発売中

曲目 吉松 隆／サクソフォン協奏曲「サイバーバード」
ブルックナー／交響曲第7番<川崎校訂版>

料金 S:6,000円／A:4,500円／B:3,000円／C:2,000円／
学生:半額(S除く)／
小中高生:1,000円(S除く、保護者同伴)／
シニア:10%引き(60歳以上)

TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団事務局
03-5933-3266

B 3日[土・祝] 14:00開演(13:20開場)

インバル=都響 [新] マラー=ツィクルスIV
「作曲家の肖像」シリーズvol.90

出演 エリアフ・インバル(Cond)／森 麻季(Sop)※※／河野克典(Bar)※／東京都交響楽団

発売

曲目 マラー=／少年の不思議な角笛(抜粋)※、交響曲第4番※※
料金 売完 TEL 都響ガイド 03-3822-0727

C 4日[日] 14:30開演(14:00開場)

日本フィルハーモニー交響楽団
第203回 サンデーコンサート

出演 小林研一郎(Cond)／前橋汀子(Vn)／日本フィルハーモニー交響楽団

ガイゲキ

曲目 ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲
チャイコフスキー／交響曲第5番

料金 S:7,000円／A:6,000円／B:5,000円／C:4,000円／
Ys:1,500円／Gs:4,000円

TEL 日本フィル・サービスセンター(平日10～17時)03-5378-5911

D 24日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場)

東京芸術劇場&ミュンザ川崎シンフォニーホール共同企画
第3回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2012

武蔵野音楽大学／昭和音楽大学／洗足学園音楽大学

出演 北原幸男(Cond)／武蔵野音楽大学大勝秀也(Cond)／昭和音楽大学秋山和慶(Cond)／洗足学園音楽大学

ガイゲキ

曲目 ショスタコーヴィチ／交響曲第5番
ファリャ／「三角帽子」第1組曲 第2組曲
ベルリオーズ／幻想交響曲

発売中

料金 1,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

最新の催物日程は東京芸術劇場ホームページwww.geigeki.jpで随時更新しています。

ガイゲキ 東京芸術劇場ボックスオフィス取扱 03-5391-3010

チケットが売完となる
場合がございます。

休 館 日 5日(月) 12日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。

E 25日[日] 18:00開演(17:00ロビー開場)

読売日本交響楽団
第199回東京芸術劇場 名曲シリーズ

出演 ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス(Cond)／読売日本交響楽団

発売中

曲目 ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
より<第1幕への前奏曲>
ビゼー／アルルの女より<メヌエット>〈ファランドール〉

料金 S:7,000円／A:5,000円／B:4,000円／C:3,000円

TEL 読響チケットセンター 03-3562-1550

F 26日[月] Closed

城西大学附属城西中学・高等学校
第42回生徒と父母のための音楽鑑賞会

関係者のみ

F 26日[月] 19:00開演(18:30開場)

東京音楽大学
シンフォニーオーケストラ定期演奏会

出演 高関 健(Cond)／清水和音(Pf)／東京音楽大学シンフォニーオーケストラ

ガイゲキ

発売中

曲目 ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第3番
マラー=／交響曲第1番「巨人」

料金 1,500円

TEL 東京音楽大学演奏課 03-3982-2496

G 27日[火] 19:00開演(18:00開場)

イングリット・フジコ・ヘミング
ピアノ・ソロ・リサイタル 2012

出演 イングリット・フジコ・ヘミング(Pf)

ガイゲキ

発売中

曲目 リスト／ラ・カンパネラ ほか
料金 S:12,000円／A:10,000円／B:8,000円

TEL サモンプロモーション 0120-499-699

H 28日[水] Closed

第16回アジア地域セーフコミュニティ会議開会式・
豊島区セーフコミュニティ認証式・記念コンサート

関係者のみ

I 29日[木]・30日[金] Closed

オカムラグランドコンサート2012
由紀さおり ―世界を魅了した歌声―

関係者のみ

TICKET INFORMATION

第2回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ 演奏会

10月23日[火]発売開始

2013年3月30日[土]15:00開演 コンサートホール

出演 秋山和慶(Cond)／音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏6音楽大学選抜オーケストラ)

手話通訳(手・通訳員)東京大学／昭和音楽大学／放送音楽大学／東京音楽大学／東京音楽大学／東京音楽大学／東京音楽大学

曲目 R.シュトラウス／祝典前奏曲 レスピーギ／交響詩「ローマの松」

マラー=／交響曲 第5番 ホルスト／組曲「惑星」より「木星(ジュピター)」ほか

料金 S:2,000円／A:1,500円

Playhouse

A 3日[土・祝]・4日[日] 10:00開演

第35回東京都高等学校
文化祭演劇部門中央大会
第66回東京都高等学校
演劇コンクール中央発表会

料金 【全席自由】入場無料

無料

TEL 工学院大学付属高校 042-628-4912

B 9日[金]・10日[土]

フェスティバル/トーキョー12
F/T12イェリネク三作連続上演
『レヒニッツ (皆殺しの天使)』

ノーベル賞作家・イェリネクによる、オーストリア・レヒニッツ村での虐殺という史実をもとにした戯曲「レヒニッツ (皆殺しの天使)」を、イェリネク作品のスペシャリストで、オペラ演出家としても名高いヨッシ・ヴィーラーが演出。日本初演。

作 エルフリーデ・イェリネク 演出 ヨッシ・ヴィーラー
出演 カトヤ・ビュルクレ /アンドレ・クング/
ハンス・クレマー/ステヴィヴェン・シャルフ/ヒルデガルド・シュマー

料金 【前売指定】一般:7,000円
(イェリネク戯曲集付・限定枚数)／
4,500円(戯曲集なし)ほか

TEL F/Tチケットセンター 03-5961-5209
(12:00-19:00 会期中無休)

★=ポスト・パフォーマンスストークあり
ユリア・ロホデ(ドラマトルク)

C 16日[金]～18日[日]

フェスティバル/トーキョー12
F/T12イェリネク三作連続上演
『光のない。』

ノーベル賞作家イェリネクが、東日本大震災と福島第一原発の事故への応答として発表した戯曲「光のない。」を、ついに日本初演。地点の三浦基の演出と、作曲家・三輪真弘を音楽監督に迎え、イェリネクのデキストの「声」や「音」が生まれる場所に接近する。

作 エルフリーデ・イェリネク 演出 三浦 基(地点) 音楽監督 三輪真弘
出演 安部聡子／石田 大／窪田史恵/
河野早紀 /小林洋平(以上、地点)ほか

料金 【前売指定】一般:7,000円
(イェリネク戯曲集付・限定枚数)／
4,500円(戯曲集なし)ほか

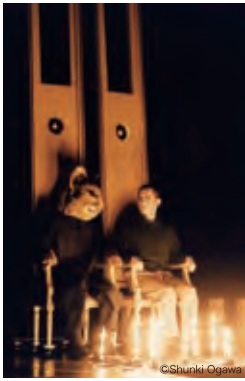
TEL F/Tチケットセンター 03-5961-5209
(12:00-19:00 会期中無休)

11月	16金	17土	18日
14:00			●
17:00		★	
19:30	●		

★=ポストトーク等のイベントあり

D 23日[金・祝]～25日[日]

フェスティバル/トーキョー12
DAH-DAH-SKO-DAH-DAH



©Shunki Ogawa

1991年初演、世界9カ国18都市で上演された代表作をリ・クリエーション。宮澤賢治の詩『原体剣舞連』(詩集『春と修羅』)に想を得て、勅使川原は独自の手つきで音、身体、空間を変質させ、賢治の詩を解体していく。その空間は、ふたたび詩の生まれる場所ともなる――。

演出・振付・美術・照明 勅使川原三郎
出演 勅使川原三郎／佐東利穂子／
加見理一／山本奈々／ジフ／
加藤梨花／林 誠太郎 ほか

料金 【前売指定】一般:4,500円／
学生:3,000円 ほか

TEL F/Tチケットセンター
03-5961-5209
(12:00-19:00 会期中無休)

ガイゲキ
発売中

11月	23金祝	24土	25日
15:00			●
17:00	●	★	

★=ポストトーク等のイベントあり



©Rihoko Sato

E 26日[月] 19:00開演

落語教育委員会 柳家喜多八・三遊亭歌武蔵・柳家喬太郎 三人会

料金 【全席指定】3,600円 TEL 株式会社夢空間 03-5785-0380

F 27日[火] 18:30開演

としま区民芸術祭第25回「としま能の会」

料金 【全席指定】〈一般〉S:3,500円／A:3,000円
〈友の会〉S:3,200円／A:2,700円

TEL 公益財団法人としま未来文化財団 Tel.03-3590-7118

Theatre East

A 2日[金]～4日[日]

フェスティバル/トーキョー12
1月8日、君はどこにいたのか?

作・演出 アミール・レザ・コヘスタニ

ガイゲキ

発売中

出演 サイード・チャンギー・ジアン／
ファテメ・ファクライ／ネガール・ジャバハリアン／
エルハム・コルダ／アフマド・メフランファール／マヒン・サデリ

料金 【前売自由】一般:4,000円
(整理番号付) ほか

TEL F/Tチケットセンター
03-5961-5209
(12:00-19:00 会期中無休)

11月	2金	3土	4日
14:00		★	●
19:30	●	●	

★=ポストトーク等のイベントあり

B 8日[木]～11日[日]

フェスティバル/トーキョー12
言葉

演出 村川拓也

ガイゲキ

発売中

出演 工藤修三／前田愛美／手話者／要約筆記者
料金 【前売自由】一般:3,000円(整理番号付) ほか

TEL F/Tチケットセンター
03-5961-5209
(12:00-19:00 会期中無休)

11月	8木	9金	10土	11日
14:00				●
17:00			●	
19:30	●	★		

★=ポストトーク等のイベントあり

C 16日[金]～12月2日[日]

イクウメ
The Library of Life
まとめ*図書館の人生(上)

作・演出 前川知大

ガイゲキ

発売中

出演 浜田信也、盛 隆二、岩本幸子、伊勢佳世、
森下 創、大窪人衛、加茂杏子、安井順平／
菊池明、西山聖了

料金 【前売指定】4,200円／【当日指定】4,400円

TEL イクウメ 03-3715-0940

11月	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金祝	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金
13:00		●	●					●	▲	●					
14:00													●		
18:00		●		休演				●	▲						
19:00	●				●	●	●					●	☆	●	●

12月	1土	2日
13:00	●	●
14:00		
18:00	●	
19:00		

▲=ビデオ撮影のため、場内にカメラが設置されます。予めご了承ください

☆=追加公演



Theatre West

A 1日[木]～11日[日]

Project Nyx 第10回公演 上海異人娼館 ～China Doll～

料金 【前売指定】4,500円／【当日指定】5,000円

ガイゲキ

発売中

TEL Project Nyx 03-6312-7031

11月	1木	2金	3土祝	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日
14:00			●	●				●	●	●	●
19:00	●	●	●		休演		●	●	●	●	

B 15日[木]～25日[日]

フェスティバル/トーキョー12 夢の城 –Castle of Dreams

作・演出 三浦大輔(ボツドール) 出演 米村亮太郎／古澤裕介／井上幸太郎／鷲尾英彰／松浦祐也／遠藤留奈／新田めぐみ／宮嶋美子

ガイゲキ

発売中

料金 【前売自由】一般:4,000円／学生:3,000円(整理番号付) ほか
※18歳未満の方はご覧いただけません※本作品は、刺激の強い性描写がございます。予めご了承の上、ご来場ください。

TEL F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00 会期中無休)

11月	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金祝	24土	25日
14:00			●	●					●	●	●
19:00			●	●	休演			●	●	●	
19:30	●	●			●		●	●			

Gallery 1

2日[金]~4日[日]
村上勇子と仲間たち
驚沢玲子と門下生による特別出品
TEL 藤縄 042-957-7699 無料

7日[水]~11日[日]
傅山書法展(拓本・剪本)併展
日中現代書人の臨書・創作
TEL 今川 03-3802-4151 無料

14日[水]~18日[日]
東京都高等学校
文化連盟書道展
TEL 藤田 03-5398-2890 無料

20日[火]~23日[金・祝]
蜷川宏子キルトファクトリー
第7回 グループ展
TEL 石塚 042-476-2562 無料

25日[日]~27日[火]
第六回 国際交流展
TEL 事務局 麻生 03-3262-7002 無料

29日[木]~12日2日[日]
第16回 有象会書展
TEL 田中 0422-52-7717 無料

6日[木]~9日[日]
第31回
肢体不自由児・者の美術展
TEL 日本肢体不自由児協会 03-5995-4511 無料

11日[火]~16日[日]
第3回 墨輪展
TEL 千代倉 080-5171-3335 無料

28日[水]
豊島セーフコミュニティ展
「笑顔のハート MERRY IN TOSHIMA」
TEL 豊島区政策経営部 セーフコミュニティ推進室 03-3981-1782 無料

18日[火]~22日[土]
2013 美術の祭典
心を打つアート展
TEL 藝術出版社 03-3464-4451 無料

23日[日・祝]~26日[水]
第2回 よみうり美術展
TEL よみうり美術展事務局 03-3642-4301 無料

Gallery 2

1日[木]~4日[日]
第17回「市民の祭典」
TEL NPO法人 東京アワーズ 090-3919-0693 無料

6日[火]~11日[日]
能面倉林会 能面展
TEL 倉林 080-5678-1736 無料

14日[水]~18日[日]
東京都高等学校
文化連盟書道展
TEL 藤田 03-5398-2890 無料

19日[月]~23日[金・祝]
「サバンナを訪ねて」写真展
TEL 伊室 03-3311-9715 無料

24日[土]~27日[火]
第38回
日本ヘア・メイクデザイン画展
TEL 日本ヘアスタイル画協会 03-3496-7321 無料

28日[水]
豊島セーフコミュニティ展
「笑顔のハート MERRY IN TOSHIMA」
TEL 豊島区政策経営部 セーフコミュニティ推進室 03-3981-1782 無料

29日[木]~12日2日[日]
現代水墨画 今岡れん子
グループ墨展
TEL 佐藤 03-3920-5477 無料

11日[火]~16日[日]
第3回 墨輪展
TEL 千代倉 080-5171-3335 無料

Atelier East

~25日[日] 12:00~20:00
F/Tインフォメーション
TEL フェスティバル/トーキョー 実行委員会事務局 03-5961-5202 無料

22日[土]・23日[日・祝] 14:00開演
紛争地域から生まれた演劇・4 リーディング&レクチャー
『ぼとりで』『Destination』
二本立てリーディング&レクチャー
料金 1,500円
TEL ITI/UNESCO(国際演劇協会) 日本センター 03-3478-2189 無料

フェスティバル/トーキョー12の参加アーティストや
演目に関する最新情報を発信するほか、
過去演目の映像、関連資料などのアーカイブも随時閲覧可能。
また、トークイベントなどの企画が実施される予定です。

※25日のみ12:00~16:00※11月5日(月)、12日(月)、20日(火)を除く

Atelier West

~4日[日]
ハーダンガー刺繍作品展
TEL 竹内 03-3316-6918 無料

6日[火]~11日[日]
三步会展(油彩)
TEL 宮地 03-3965-1984 無料

13日[火]~18日[日]
第五回 豊彩会(日本画展)
TEL 豊彩会事務局 高橋 03-3913-3088 無料

19日[月]~23日[金・祝]
東京地下鉄親交会写真部展
「My写真館8」
TEL 内村 080-5536-4205 無料

24日[土]~27日[火]
第19回 創作者集団アートピクス展
TEL 鈴木 03-3805-5111 無料

28日[水]~12日2日[日]
第17回 日本画 遊彩会展
TEL 多々良 03-3923-5591 無料

5日[水]~9日[日]
グループ恵展 36回展
TEL 大野 080-2007-9041 無料

11日[火]~16日[日]
雛燕書展
TEL 和泉 080-4792-1238 無料

23日[日・祝]~28日[金]
12人会2012
TEL 川崎 080-3028-6431 無料

Symphony Space

4日[日]16:00~19:00
F/Tユニバーシティ vol.8 アミール・レザ・コヘスタニ
出演 アミール・レザ・コヘスタニ/ナビゲーター・鴻 英良(演劇批評家)
※Web 予約/定員:70名 ベルシア館、日本館逐次選別つき
TEL フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 03-5961-5202 ※F/Tユニバーシティ、F/Tシンポジウム共通 無料

20日[火]14:00~21:00
F/Tシンポジウム
料金 各回500円 ※要 Web 予約 各回定員50名
登壇者 F/T12 参加アーティスト/F/T ダイアログ参加者/F/Tプログラム・ディレクター ほか
TEL アジア舞台芸術祭制作オフィス 03-3477-0807(11:00~18:00) ※予約制 無料

1日[土]18:30
アジア舞台芸術祭2012
APAFアートキャンプ・ラウンドテーブル
TEL アジア舞台芸術祭制作オフィス 03-3477-0807(11:00~18:00) ※予約制 無料

F/T12

今年もF/Tは東京芸術劇場など池袋界隈の文化拠点を中心に開催！
東京、日本、そしてアジアを代表する国際芸術祭として、国内外から集結した
FESTIVAL/TOKYO 先鋭的で演劇の枠組みには囚われないラインナップでお待ちしております！

報じられない現実から生み出される、
ラディカルな思考空間
たった一人の中庭
10月27日[土]~11月4日[日] にしすがも創造舎
ジャン・ミシェル・ブリュイエール/LFKs

携帯電話の会話に垣間見える、
若者たちの心、テヘランの現在。
1月8日、君はどこにいたのか？
11月2日[金]~4日[日] 東京芸術劇場シアターイースト
メヘル・シアター・グループ
作・演出：アミール・レザ・コヘスタニ

「現在」を語るために。
言語の更地から、ふたたび始める
言葉
11月8日[木]~11日[日] 東京芸術劇場シアターイースト
演出：村川拓也

福島ー東京。
その距離を捉え直すツアーパフォーマンス
F/T12イェリネク三作連続上演 光のない II
11月10日[土]~24日[土] 東京都内各所
Port B
作：エルフリーデ・イェリネク 構成・演出：高山 明

世界に衝撃を与えた無言劇、
「行き止まり」の日常。
夢の城 - Castle of Dreams
11月15日[木]~25日[日] 東京芸術劇場シアターウエスト
ボツドール
作・演出：三浦大輔

現在進行形の「証言」のために。
朝鮮戦争の埋もれた記憶を召喚する
ステップメモリーズー抑圧されたものの帰還
11月22日[木]~25日[日] にしすがも創造舎
グリーンピグ
構成・演出：ユン・ハンソル

演劇が浮き彫りにする地域の危機、
そのリアル
女司祭ー危機三部作・第三部
10月27日[土]~30日[火] 東京芸術劇場シアターイースト
クレタクール
作・演出：アールバード・シリング

自由奔放な言語・身体感覚と、
未知との出会いが描き出す日本の自画像
隣人ジミーの不在
11月2日[金]~6日[火] あうるすぽっと
岡崎藝術座
作・演出：神里雄大

「饒舌」が浮き彫りにする「沈黙」。
語ることへの終わりのなき挑戦
F/T12イェリネク三作連続上演 レビニッツ(皆殺しの天使)
11月9日[金]~10日[土] 東京芸術劇場プレイハウス
作：エルフリーデ・イェリネク 演出：ヨッシ・ヴィーラー
製作：ミュンヘン・カンマーシュピール

福島へ。境界線へ。見えない風景、
聞こえない言葉を探す旅の記録
アンティゴネーへの旅の記録とその上演
11月15日[木]~18日[日] にしすがも創造舎
マレビトの会

ノーベル賞作家の3.11への応答。
「声を出す/聞く」を問い直す実験空間
F/T12イェリネク三作連続上演 光のない。
11月16日[金]~18日[日] 東京芸術劇場プレイハウス
作：エルフリーデ・イェリネク
演出：三浦 基(地点) 音楽監督：三輪真弘

各公演の「シングルチケット」「学生券」東京芸術劇場ボックスオフィス03-5391-3010で発売中
【学生券について】※学生とは通学定期乗車券発売対象の指定学校の学生証をお持ちの方です。※引換券方式となりました。チケットご予約後、セブンイレブンにて引換券を発券、支払いをしていただきます。公演当日受付にて引換券と学生証をご提示の上、本券をお受け取りください。公演当日に学生証をお持ちでないと、一般料金との差額をお支払いいただくことになります。ご注意ください。※本人様のみ有効です。※主催プログラムのすべての公演で学生券のお取扱がございます。※学生券の中には学生料金と高校生以下料金がございます。ただし、夢の城 - Castle of Dreamsは高校生以下料金の設定がございます。

お問合せ フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局
03-5961-5202 オフィシャルHP <http://festival-tokyo.jp/>

勅使川原三郎 × 東京芸術劇場

F/T12 詩の生まれる場所へ ――。
勅使川原三郎が紐解く、宮澤賢治の「音」
DAH-DAH-SKO-DAH-DAH
11月23日[金・祝]~25日[日] プレイハウス
演出・振付・美術・照明：勅使川原三郎
お問合せ フェスティバル/トーキョー
実行委員会事務局 03-5961-5202

次回
予告
10月27日[土] チケット発売開始
芸術dance
勅使川原三郎ディレクション新作公演
2013年1月26日[土]・27日[日] シアターイースト
監修・演出・振付・美術・照明：勅使川原三郎
出演：KARASダンサー/U18ダンスワークショップ・プロジェクト/ワークショップ参加者
チケット料金 【前売指定】一般：3,500円/U18(18歳以下)：1,000円/
65歳以上：3,000円/25歳以下：2,500円

©Shunko Ogiwara ©Rihoko Sato

VOICE.1
ディディエ・デシャン

人が集まる 自由な空間を目指そう

「人が集まりたくなる場所」を目指して劇場改革を進める野田と、
ダンスの地位を高めようと奔走するパリ・シャイヨー宮国立劇場のデシャン。
柔軟な発想の2人の芸術監督が、理想の劇場の姿を語り合った。



ディディエ・デシャン

DIDIER DESCHAMPS パリ、リヨン、ニューヨークなどでダンスやパフォーマンスを学び、ダンサー、振付家として活躍。自身でカンパニーを持つほか、リヨン・オペラ座バレエ団、アンジェ国立現代舞踊センター、ロンドン・コンテンポラリーダンススクールなどで振付や指導を行ってきた。2000～11年までフランス国立ロレーヌ・バレエ団芸術監督、11年7月よりパリ・シャイヨー宮国立劇場の芸術監督を務めている。

今回の
アイタイ
ヒト

Q.あなたが抱く日本のイメージは？
すべてが効率よく進み、細部まで行き届いている国。
フランスは、よく言えば自由で臨機応変。悪く言えば
行き当たりばったりなので真逆なんです。日本人は
実に几帳面で用意周到。だってほら、この質問だって
事前に準備されてたわけでしょ？

野田 秀樹
HIDEKI NODA 劇作家・演出家・役者。1976年に劇団「夢の遊眠社」を結成。数々の話題作を上演し演劇界に大きな影響を与える。92年に劇団を解散し、ロンドンへ留学。帰国後の93年に「NODA・MAP」を設立し、『キル』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・ダイバー』『ザ・キャラクター』など、次々と話題作を発表。国内のみならず海外の演劇人との創作活動や、歌舞伎の脚本・演出なども手掛け、精力的に創作に取り組む。2012年『THE BEE』English & Japanese Versionは、ワールド&ジャパンツアーとして、世界3都市、日本5都市にて上演。09年より、東京芸術劇場芸術監督に就任。10月28日までプレイハウスにてNDOA・MAP第17回公演『エッグ』を上演。

デシャン 東京芸術劇場は、外から見ると街の中心に位置するように感じられますね。私はそのことに、まず驚きました。現代建築の建物は、ガラス張りです。自然光が入ってくるし、舞台を観に来る人も、そうでない一般の人も、自由に往き来できる雰囲気が出ています。まるで古代ギリシャ時代のフォーラム（公会広場）のように、人々が集い、言葉を交わしている。そんな開かれた印象を受けました。

野田 実は、改装前はあまりそういう場所ではなかったんですよ。人はここを通行するだけで、集まって留まることは少なかった。だいたい人が集まるためには、「あそこなら行ってみたい」と思われるような空間であることが必要ですよ。劇場にとっても、それはものすごく大事な要素だと思うんですが、日本の劇場には、そういう場所が「無い」とは言いませんが、劇場内部のことは考えても、周辺や街との関係については、あまり気にしない傾向が強いと思うんです。今回はそのあたりをかなり意識して改修していて、このいま僕たち

がいる1階エントランス部分のカフェのように、人が溜まれる店を入れて欲しいという、テナントの要望まで出しました。おっしゃっていただいたような印象が変わって、よかったなと思っています。

デシャン うらやましいですね。シャイヨー宮劇場は、残念ながら上演前後の時間帯しか、中を出入りできないんですよ。

野田 法的に難しいんですか？

デシャン いいえ、予算上の問題です。シャイヨー宮はたくさんの人が出入りする広大な施設（注：劇場以外に建築・文化財博物館など3つの博物館を擁するほか、エッフェル塔がよく見えることで知られる観光名所でもある）なので、管理に相当数のスタッフを要するんです。それに、歴史的建築物に認定されているので、新しく塀を建てたり、出入りを細かく制限することも許されません。それで結局、公演がある時以外は敷地内に入れない場所になってしまっているわけです。私個人としては、自由に出入りできることが望ましいと思っていますんですけどね。

野田 ディディエさんは、芸術監督になられて何年くらいですか。

デシャン 2年前に指名され、準備期間を経て1年前に就任しました。現在2シーズン目に入るところです。

野田 ヨーロッパは芸術監督制が定着していますが、日本はそこまでいっていないので、「芸術監督ってどういうことするんですか」とよく聞かれるんです。この質問をディディエさんにしてみたいんですが、どういう風に考えていますか。

デシャン シャイヨー宮劇場での私は、総監督と芸術監督という二つの職責を与えられています。芸術監督としては、9月から翌年8月までの上演作品と、アート活動全体のプログラムを決定しています。ふつうフランスの国立劇場では、芸術監督が自分自身の作品を年に数本上演しますが、私はシャイヨーにきた1年目は振付家・ダンサーとしての自らの仕事は休止しまして、今シーズン初めて、自分の作品をラインナップに加えたところです。ほかに、フランスの地方や外国など、内外の

演劇やダンス公演の招聘も行っています。

野田 ということは、私がやっていることも、だいたい間違いではないということですね（笑）。僕は総監督としての仕事は、別のところをお願いしているんですけど。

デシャン 総監督としては、政治・予算・行政に関わる全責任を負っています。もちろん私ひとりではなく、各部門にスタッフがいて、チームとして仕事をしているわけですが。

野田 僕の場合は、そこを切り離していることで、不満を感じることもあります。「どうしてそこでお金の問題が生じて、すべての流れが止まってしまうのか」といった障害にぶつかるたびに、総監督の部分まで手を出していれば……とは思いますが、たぶん相当大変な仕事でしょうね、政治や経済のことまで絡んでくると。

デシャン ええ、やりたくない日もありますよ（笑）。総監督は誰かに任せたいと思うこともあります。シャイヨー宮劇場は現在、フランスで唯一、ダンスをメインに上演する国立劇場で、これは多くの

ダンサーたちが奮起して、初めて実現したことなんです。ですから私も、ダンサーが国立劇場を指揮できることを証明するために、初年度はクリエイターとしての仕事を減らして、運営に的を絞ってがんばったわけです。フランスでは、コンテンポラリー・ダンスは盛んではありますが、やはり第一にクラシック系音楽、続いて演劇が優位にあって、ダンスはまだステータスの低い芸術とみなされています。国立劇場という場を得たことで、ダンスが広く認められ、その地位を引き上げることが、ダンサー出身の私の使命だと思っているんです。

野田 フランスでダンスの地位が低いということは、逆にどれだけ音楽と演劇への予算が大きいのか、ということなんでしょうね。日本の現状とは比べものにならない。

デシャン もちろんダンスだけでなく、演劇も積極的に上演していこうと思っているんですよ。シャイヨーは多くのフランスの重要な演劇人が仕事をしてきた劇場ですし、行政は我々を区分しますが、アーティストは、元来粋から自由な存在

のはずですからね。私が昨夜この劇場で観た『エッグ』がいい例です。芝居だけでなく、ダンスと歌も含まれていましたし、シリアスな場面で、爆笑が起きていたのも印象的でした。私にとってアーティストは、芸術を通して世界を別の方法で見せてくれる存在ですが、野田さんの『エッグ』は、まさしくそんな作品で、観客を独特の美で豊かにしながら、しっかりと問題提起を行っていた。実にポジティブな作品で、たいへん気に入りました。ぜひ、いつか野田さんの作品をシャイヨー宮劇場にもお招きしたいと思っています。

野田 もちろん、喜んでうかがいます。シャイヨー宮劇場のような素晴らしい劇場で上演できるのは、演劇人としてとても幸福なことだと思いますから。

デシャン パリの観客にとっても、野田さんの作品に出会えることは、幸せに違いないと思います。お越しいただくことを楽しみにしています。

取材・構成：伊達なつめ
協力：ベル・オーブ東京芸術劇場店



9.1sat
Concert
Hall

読売日本交響楽団 マーラー交響曲 第2番「復活」



9.5wed
Playhouse

©岡本隆史

NODA・MAP 第17回公演 エッグ

Theatre Report

芸劇オープニングウィーク

1年半の改修を経て、9月1日生まれ変わった芸劇が再始動！

まだ夏の気配が残る東京・池袋。晴れ渡った青空のもと、新しい芸劇がスタートしました。

リニューアルした劇場を彩ったのは、選りすぐりの演目の数々。

下野竜也&読響による マーラー交響曲 第2番「復活」

オープニング前日のリハーサルを終えた下野さんからは「響き」がマイルドになった」とうれしいコメントが。そして待ちに待った9月1日、力強くタクトが振り下ろされ、それに応える堂々の演奏が芸劇の新たな始まりの時を告げました。一年半の改修期間を経て“生きた音”が約2000人のお客様を包み込みました。その瞬間、芸劇スタッフも改修にあたった関係者も、より良くなった音響面の変化を実感。今後たくさんの音が馴染み、芸劇コンサートホールらしい音が生み出されていくことに期待したいと思います。

野田秀樹最新作『エッグ』

改修にあたり、機能面も内装についても当館の芸術監督である野田秀樹が特にこだわったプレイハウス。見た目のイメージも一新したホールでは、

NODA・MAPの最新作『エッグ』がスタート。“この世にないスポーツ”の物語がくり繰り広げられています。今回野田からのラブコールで椎名林檎さんが劇中歌を担当。その楽曲はいつまでも耳に残り、この作品の持つ深いテーマを象徴するようです。エッグ=卵とは何か。世界か、歴史か、人間か、演劇か、それとも…。社会に対する鋭い視線が感じられる本作は10月28日までプレイハウスで上演中です。

カナダからやってきた『ひつじ』

地下1階、ロワー広場に放牧されたひつじたち。芸劇ではすっかり馴染みとなりましたが、もう一度観たいと訪れた方も、愛くるしい動きに思わず足を止めて初めて観た方も、その魅力のとりこになったようです。今回も「めえ〜めえ〜」と鳴き声を真似する多くの子供たちの姿が見られました。『ひつじ』のインパクトとその影響力の大きさをあらためて実感した公演でした。

親子で楽しめる『ショックヘッド・ピーター』

ハンガリーから初来日したミュージカル。親も子も一緒になって大きな声で笑ったり、怖い“おし

おき”シーンには泣きそうになる子供の姿も。一方で「親が子供を怖がらせることだけが本当の戯になるのか。」という問いかけは、社会において「政府が強引なルールで人を従わせることができるのか。」という隠された問題提起でもありました。独特な表現、新たな切り口から、世界にある様々な価値観を発見できる作品となりました。

どれも1夜限りのオムニバス『東京福袋』

“東京”というキーワードをもとに練り上げられた今注目の劇団・団体によるパフォーマンス企画。加えて、作家の自作自演によるリーディング、そして落語などを集めた企画。ジャンルを超えて「今日はどんな舞台が観られるのか？」と連日まさに何が出てくるか分からないお楽しみの“福袋”。それぞれが独自の表現を追求し、舞台芸術のあらゆる可能性を感じさせてくれました。

これからも多彩なラインナップで皆様のお越しをお待ちしています。新しいスタートを切った芸劇のこれからの、どうぞご期待ください。



9.1sat
ロワー
広場

TACT/FESTIVAL 2012 ひつじ



9.1sat
Theatre
East

photos by Eszter Gordon

TACT/FESTIVAL 2012
ジャンク・オペラ ショックヘッド・ピーター 〜よいこのえほん〜

伝統に裏付けられた確かな技術——



明治座舞台株式会社

舞台道具の製作や、東京芸術劇場ほかの舞台管理業務受託など、これからも皆様に多彩な舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。



一般建設業 東京都知事 許可（般-22）第135048号
特定労働者派遣事業 特13-314311

お問い合わせ先 ☎03(3660)3919

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号

人が集うところに、コトブキのイスがあります。

K・O・T・O・B・U・K・I



東京芸術劇場

コトブキシーティング株式会社

公共施設のイス

検索

東京都千代田区神田駿河台1-2-1 〒101-0062 サポートセンター TEL：0800-170-7111 E-mail：seating@kotobuki.co.jp http://www.kotobuki-seating.co.jp

